

# 第5回 福岡アートアワード

The 5th Fukuoka Art Award



【第4回 福岡アートアワード 市長賞】宮本 華子 《在る家の日常》2024年

## アーティスト募集



募集期間 > 2026年7月1日[水] - 8月31日[月]

福岡アートアワードは、福岡市美術館が、Fukuoka Art Nextの一環として実施する事業です。福岡市内で活動をおこない、今後活躍が期待できるアーティスト(美術作家)を対象に、作品の買い上げをもって贈賞します。贈賞によりアーティストを支援し、買い上げ作品は福岡市美術館の所蔵品として展示活用されます。これにより、福岡市にアーティストが集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会が増え、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指します。



【第4回 福岡アートアワード 優秀賞】  
谷澤 紗和子  
《お喋りの効能》  
2025年



【第4回 福岡アートアワード 優秀賞】  
川辺 ナホ  
《樂園を探して(-Et in Arcadia Ego)》  
2024年



【第4回 福岡アートアワード 優秀賞】  
平野 薫  
《空の衣服(untitled -war kimono-)》  
2025年

## 賞について

自薦・他薦にて対象アーティストを募集します。  
応募者の中から、選考委員が受賞者と買い上げ作品を選考します。

◆市長賞 1名 ◆優秀賞 若干名

[買い上げ総額700万円(予定)]

## 募集内容

### (1) 募集期間

令和8(2026)年7月1日(水)から8月31日(月)まで

### (2) 応募方法

福岡アートアワード専用ページ(<https://fukuoka-art-next.jp/faa>)より、応募様式(①-③)をダウンロードし、必要事項を記入の上、補足資料(④、⑤)とともにオンラインフォームよりご応募ください。

#### 【応募様式】

- ①アーティスト情報(\*他薦の場合、推薦者情報も記入)
- ②過去2年間の福岡市内での活動実績(1つ以上)
- ③買い上げ可能作品情報(5年以内に制作したもので3点まで可)

#### 【補足資料】

- ④過去作品のポートフォリオ(A4サイズ10頁、10MB以内)
- ⑤「②過去2年間の福岡市内での活動実績」を証明するもの(パンフレット、チラシ等)

## 賞の対象

以下の(1)(2)いずれにも該当するアーティストが対象となります。

- (1) 過去2年(令和6年9月から令和8年8月)の間に、福岡市内で、展覧会、アートフェアなどへの出品、レジデンスへの参加、アート・プロジェクトの実施など、1つ以上の活動をおこなったもの。
- (2) 過去5年以内に制作した、福岡市美術館が買い上げ可能な作品を有するもの。

## 選考スケジュール(予定)

- (1) 第1次選考委員会: 令和8(2026)年10月中下旬  
通過者へのみ、10月中にメールにて結果を通知し、追加資料の依頼をおこないます。
- (2) 第2次選考委員会: 令和8(2026)年11月中下旬  
候補者には、12月中に選考結果をお知らせします。
- (3) 受賞作家・買い上げ作品の発表: 令和9(2027)年2月下旬
- (4) 授与式、受賞作品展: 令和9(2027)年3月下旬

## 選考委員

下記の3名の委員によって、選考がおこなわれます。



蔵屋 美香

横浜美術館 館長

撮影:加藤甫

千葉県生まれ、千葉大学大学院修了。東京国立近代美術館(以下MOMAT)勤務を経て、2020年より現職。主な展覧会に、「ぬく絵画—日本のヌード 1880-1945」(2011-2012、MOMAT、第24回倫雅美術奨励賞)、「Koki Tanaka abstract speaking: sharing uncertainty and other collective acts」(2013、第55回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館、特別表彰)、「高松次郎 ミステリーズ」(2014-15、MOMAT、共同キュレーション)、「没後40年 熊谷守一:生きるよろこび」(2017-18、MOMAT)、「おかえり、ヨコハマ」(2025、横浜美術館)等多数。京都大学経営管理大学院および多摩美術大学客員教授。



野中 明

広島市現代美術館 副館長

1969年福岡市生まれ、九州大学文学部卒業。米子市美術館、長崎県美術館勤務を経て2021年より現職。主な展覧会に、米子市美術館での「井田勝一内なる記憶」(1997)、長崎県美術館での「舟越保武—かたちに込める祈り」(2008)、「ダニ・カラヴァン展」(2008)、「菊畑茂久馬回顧展戦後/絵画」(2011、第23回倫雅美術奨励賞)、「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」(2015、第11回西洋美術振興財団賞)、「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」(2019)、「青木野枝 ふりそそぐものたち」(2019)など。



堀川 理沙

ナショナル・ギャラリー・シンガポール、キュレトリアル&コレクションズ ディレクター

1978年米国ミシガン州生まれ。九州大学大学院修士課程修了。専門はアジア近現代美術史。2002-2003年中国ロングマーチ・プロジェクトに関わる。2003-2012年福岡アジア美術館、2012年よりナショナル・ギャラリー・シンガポールに勤務し、2021年より現職。主な企画展に、同館での「Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century」(2015)、「Reframing Modernism: Painting from Southeast Asia, Europe and Beyond」(2016)、「(Re)Collect: The Making of Our Art Collection」(2018)など。

【個人情報の取扱いについて】 応募書類に記載された氏名、住所、連絡先等の個人情報は、個人情報の保護に関する法律その他関係法令を遵守し、福岡市美術館が適正に管理します。当事業に関する資料の送付、連絡、その他本事業に必要な目的以外での利用及び第三者への提供はいたしません。

問合せ先

福岡アートアワード事務局 E-mail: [faa@break-net.com](mailto:faa@break-net.com) Tel: 090-2557-1714(平日10:00~16:00)